

スタートアップガイド for Windows



改版履歴

改版No.	ページNo	変更内容	日時
1		制定	2014/10/29
2	全般	機能改良に伴う画像の変更	2014/11/27
2	21	URLをその他の方法で通知するを追加	2014/11/27
2	7	iOS対応バージョン、Windowsその他の事項追記	2014/11/27
3	7	iOS対応バージョン追記	2015/1/29
4	7	iOS対応バージョン追記	2015/2/17
5	7	Android・iOS対応バージョン追記	2015/3/26
5	全般	機能改良に伴う画像の変更	2015/3/26
6	7	Android・iOS対応バージョン追記 通信環境の補足を追記	2016/4/30
6	29	端末が30日以上外部ネットワークに接続されない場合の 注意事項を追記	2016/4/30
6	38	よくあるご質問（FAQ）のリンク追記	2016/4/30
7	7	iOS対応バージョン追記	2015/7/22
8	全般	機能改良に伴う画像と文言の修正	2015/9/30
8	7	対応ブラウザからGoogle Chromeを削除	2015/9/30
8	7	iOS対応バージョン追記	2015/9/30
9	全般	機能改良に伴う画像・文言の更新	2016/3/24
9	7	動作環境を変更	2016/3/24
9	9-13	インストール前の確認事項を変更	2016/3/24
9	18	管理者権限を付与したインストーラーの作成手順を追加	2016/3/24
9	28-32	インストーラーURLと登録キーの通知方法を変更	2016/3/24
9	33-41	Anクライアントのインストール手順・インストール後の 確認事項を変更	2016/3/24
9	42-45	プロキシサーバーの設定変更方法を追加	2016/3/24
10	7	対応エディションをリンク先にて確認するように変更	2016/4/15
11	9	「利用開始までの流れ」を追加	2016/7/27
11	12	「端末管理に必要なプログラムについて」を追加	2016/7/27
11	14	「端末の準備をする」を追加	2016/7/27
11	全般	文言調整	2016/7/27
12	全般	機能改良に伴う画像や文言の変更	2016/9/27
13	28	機能追加に伴う画像の変更	2016/12/21

改版No.	ページNo	変更内容	日時
14	8	対応ブラウザからFirefoxを削除	2017/3/1

目次

announce

1. 納品物 (p.5)
2. 動作環境 (p.7)
3. 利用開始までの流れ (p.10)
 - 3-1 利用開始までの流れ (p.11)
 - 3-2 利用開始までの流れ(ネットワーク接続時、プロキシサーバーを経由する場合) (p.12)
4. 端末管理に必要なプログラムについて (p.13)

guide

1. 端末の準備をする (p.15)
2. 管理コンソールにログインする (p.27)
3. 管理者権限を付与したAnクライアントのインストーラーを作成する (p.31)
4. 端末情報を登録する (p.34)
 - 4-1 1台ずつ登録する (p.35)
 - 4-2 一括で登録する (p.37)
5. ユーザーにインストーラーURLと登録キーを通知する (p.41)
 - 5-1 インストーラーURLと登録キーをメールで通知する (p.42)
 - 5-2 インストーラーURLと登録キーをその他の方法で通知する (p.44)
6. 端末にインストールする (p.46)
 - 6-1 端末にインストールする (p.47)
 - 6-2 インストールに失敗した時の対処方法 (p.52)
7. インストール後に確認する (p.53)

◆補足資料 プロキシサーバーの設定を変更する (p.55)

- パターン1 プロキシサーバーを経由する環境→経由しない環境に切り替えたい場合 (p.56)
- パターン2 プロキシサーバーを経由しない環境→経由する環境に切り替えたい場合 (p.56)
- パターン3 経由するプロキシサーバーの設定を変更したい場合 (p.56)

お問い合わせ先 (p.59)

納品物

1-1 納品物一覧

announce

1

■ 納品物一覧

LanScope Anは、メールで納品します。
納品メールに記載している情報は、以下の通りです。

- メール
 - ・ ご契約情報
 - ・ 利用規約
 - ・ お問い合わせ窓口
 - ・ 管理コンソールへアクセスするURL
 - ・ 管理コンソールにログインするアカウントとパスワード

動作環境

2-1 動作環境

announce

2

■ 管理者PC

○対応ブラウザ

- ・ Internet Explorer

※ブラウザは、Silverlight5のプラグインが動作するバージョンをご利用ください。

※管理コンソールは、Windows端末から確認してください。

○画像解像度

- ・ 1024×768以上

○通信環境

- ・ インターネットに接続できる環境
- ・ 下記ポートを開放してください。
HTTPS通信 (port : 443)

■ 管理する端末

○通信環境

- ・ インターネットに接続できる環境
- ・ 次のポートを開放してください。(port : 443)

○対応OS

最新のOS対応状況については、次のページをご確認ください。

<http://www.lanscope.jp/an/product/systemcompose.html>

○端末にサインインするアカウントについて

次のどのアカウントでサインインした場合でもLanScope Anの機能を利用できます。アカウントの切り替え、複数アカウントによるサインインにも対応しています。

※ただし、LanScope Anは「端末」単位で管理するため、取得情報がどのアカウントのものかを確認することはできません。

- ・ Microsoftアカウント …管理者・標準(ユーザー)権限
- ・ ローカルアカウント …管理者・標準(ユーザー)権限
- ・ Active Directory ドメインアカウント …管理者・標準(ユーザー)権限

○その他

- ・ Windows 8.1 / Windows 10 Homeはリモートワイプに対応していません。
- ・ 管理対象の端末には、Windows 8.1 Updateにアップデートするための更新プログラム (KB2919355) を適用してください。

●2016/3/23以前からWindows端末を管理している場合は必ずご確認ください

2016/3/23以前からLanScope AnでWindows端末を管理している場合で、Anクライアントを移行していない端末(*)の場合の動作環境は、次のとおりです。

*注釈：2016/3/23以前からLanScope AnでWindows端末を管理している場合、Anクライアントの移行が必要です。別紙『Anクライアント(デスクトップ)移行ガイド』を参照して移行を完了させてください(Android・iOSの場合、この作業は不要です)。

■管理者PC

… 前ページの内容と同じです。

■管理する端末

○通信環境

- ・インターネットに接続できる環境（30日に1回以上の接続が必要です）。
- ・下記ポートを開放してください。
Windowsプッシュ通知サービス（WNS）による通信(port : 80,443)

○その他

- ・対応しているエディションは次のとおりです。
Windows 8.1 / Windows 8.1 Pro / Windows 8.1 Enterprise
- ・Windows 8.1は、リモートワイプに対応していません。
- ・インストールされる際には、Windows 8.1 Update および Windows 8.1 RT Updateにアップデートするための更新プログラム (KB2919355) を適用してください。

○端末にサインインするユーザーについて次の注意事項があります。

- ・端末に次の条件を満たしたアカウントでサインインする必要があります。
 - ・MDM登録を行ったアカウントであること
 - ・管理者権限を持っていること
- ・マルチアカウントには対応していません。

利用開始までの流れ

- 3-1 利用開始までの流れ
- 3-2 利用開始までの流れ
(ネットワーク接続時、プロキシサーバーを経由する場合)

announce

3

1. 端末の準備をする

パスワードなどの
設定



2. 管理コンソールにログインする

3. Anクライアントの インストーラーを作成する

※標準(ユーザー)権限でAnクライアントのインストール
を行いたい場合のみ必須です。

管理コンソールに
ログイン・登録



4. 端末情報を登録する

5. インストーラーURLと 登録キーを通知する

インストール・登録

6. 端末にAnクライアントを インストール・登録する



利用開始までの流れ (ネットワーク接続時、プロキシサーバーを経由する場合)

1. 端末の準備をする

通常の準備に加えて、端末側でプロキシの設定を行います(p.25)。プロキシ設定は、Anクライアントをインストールするより前に行ってください。

プロキシ・
パスワードなどの設定



2. 管理コンソールにログインする

3. Anクライアントの インストーラーを作成する

※標準(ユーザー)権限でAnクライアントのインストールを行いたい場合のみ必須です。

管理コンソールに
ログイン・登録



4. 端末情報を登録する

5. インストーラーURLと 登録キーを送信する

インストール・登録

6. 端末にAnクライアントを インストール・登録する

プロキシサーバーへの接続に認証が必要な場合は、端末側に表示された画面に接続情報を入力します。



端末管理に必要なプログラム について

4-1 端末管理に必要なプログラムについて

announce

4

管理対象のWindows端末に必要なプログラムを確認します。

■Anクライアント(必須)



端末をLanScope Anに登録するために必要なアプリケーションです。
Anクライアントをインストールすることで、LanScope Anのすべての機能を利用できます。

※一部、エディションにより機能差があります。詳細は「動作環境」(p.8)を参照してください。

●2016/3/23以前からWindows端末を管理している場合は必ずご確認ください。

デスクトップアプリ版Anクライアントへの統合にともない、Anクライアントの移行が必要です。移行が完了していない端末がある場合は別紙『Anクライアント(デスクトップ)移行ガイド』を参照してください。

端末の準備をする

1-1 端末の準備をする

guide

1

端末の準備をする

1-1

プログラムをインストールする前に、端末側の設定を行います。

①端末にパスワードを設定します。

※リモートロック機能を利用する場合

Windowsにサインインする際、パスワードが求められるように設定します。

リモートロックに成功すると端末はWindowsのロック画面に切り替わりますが、事前にパスワードが設定されていないと、パスワードを入力しなくても端末を引き続き利用できてしまうためです。

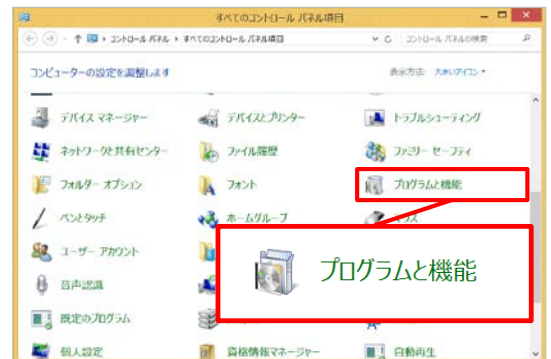
②位置情報の設定を有効にします。

※位置情報取得機能を利用する場合

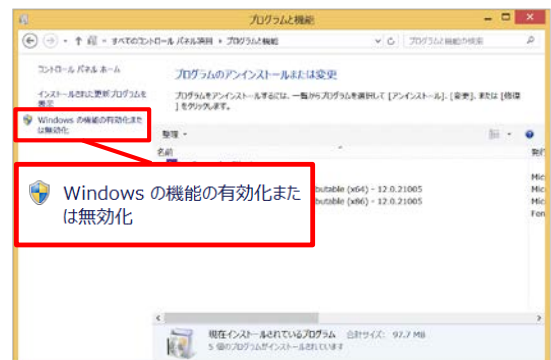
[Windows 8.1の場合]

・位置情報取得機能の有効化

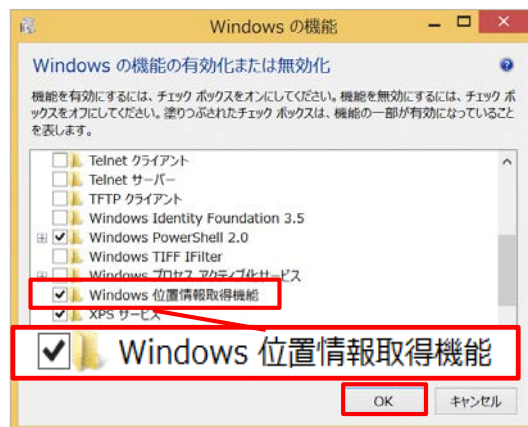
1. [コントロールパネル]-[プログラムと機能]をタップします。



2. 「Windowsの機能の有効化または無効化」をタップします。

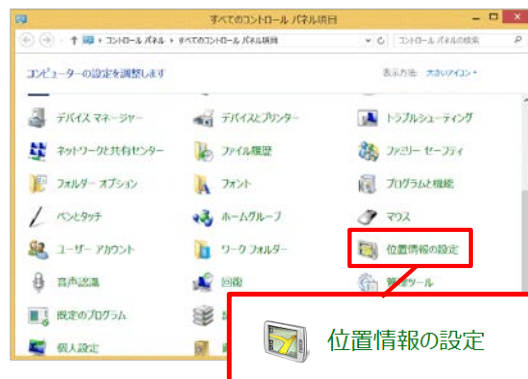


3. 「Windowsの機能」ダイアログが開きますので、一覧から「Windows位置情報取得機能」にチェックを入れて「OK」をタップします。

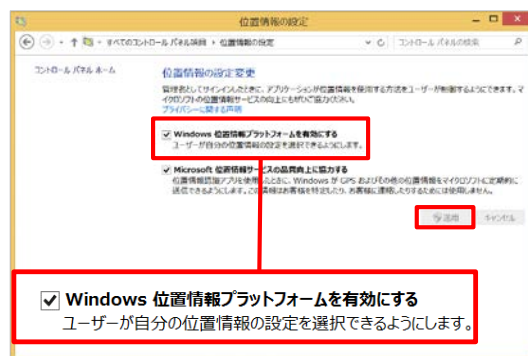


・ Windows位置情報プラットフォームの有効化

1. [コントロールパネル]-[位置情報の設定]をタップします。

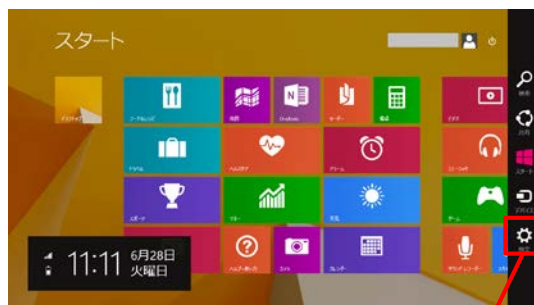


2. 「Windows位置情報プラットフォームを有効にする」にチェックを入れて「適用」をタップします。

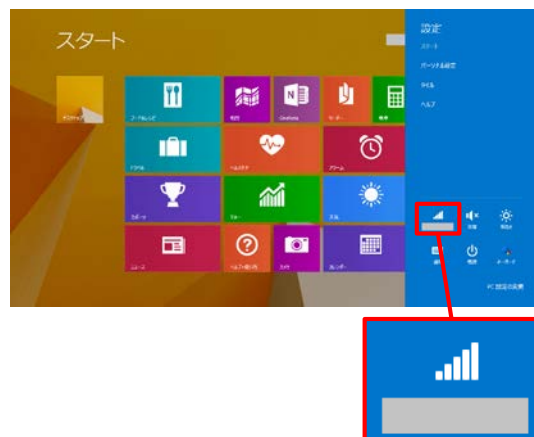


・Wi-Fiの有効化

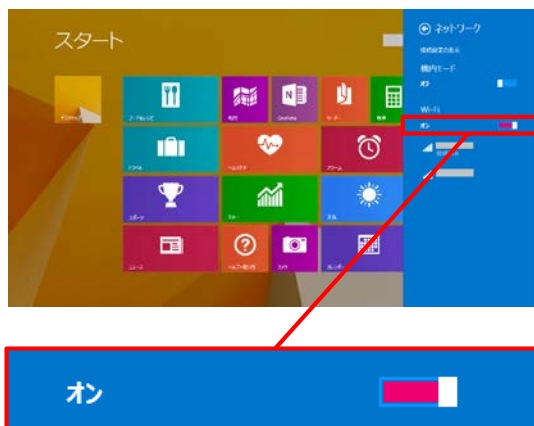
1. チャームバーの「設定」をタップします。



2. 「ネットワークアイコン」をタップします。



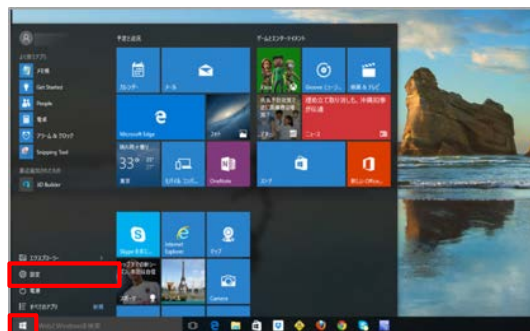
3. 「Wi-Fi」を「オン」に切り替えます。
※Wi-Fiの設定が「オン」になっていれば、Wi-Fiに接続していなくても問題ありません。



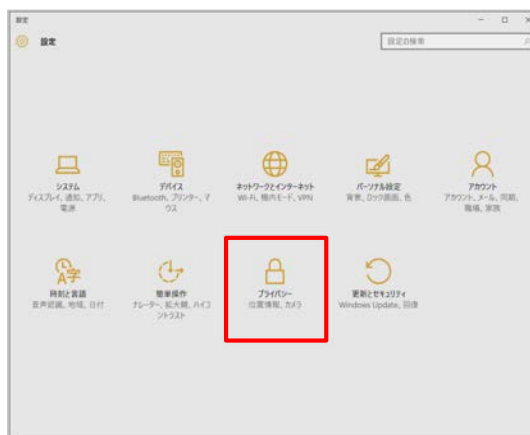
[Windows 10の場合]

・位置情報取得機能の有効化

1. [スタートボタン]-[設定]をタップします。



2. 「プライバシー」をタップします。



3. 「位置情報」をタップします。



4. 「変更」をタップします。

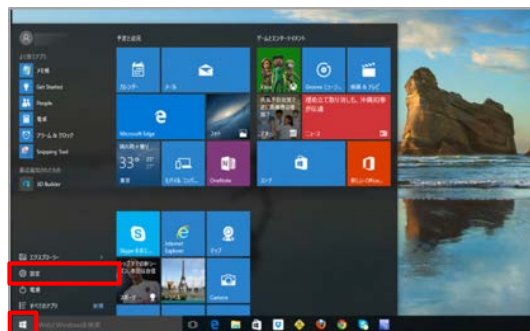


5. 「このデバイスの位置情報」を「オン」に切り替えます。

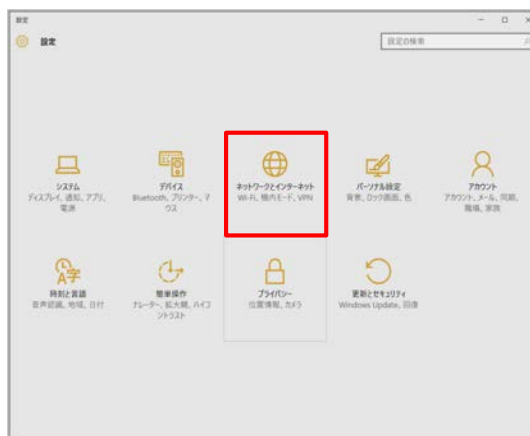


・Wi-Fiの有効化

1. [スタートボタン]-[設定]をタップします。



2. 「ネットワークとインターネット」をタップします。



3. 「Wi-Fi」を「オン」に切り替えます。
※Wi-Fiの設定が「オン」になっていれば、Wi-Fiに接続していなくても問題ありません。



③端末のBitLockerを有効にします。
※リモートワイプ機能を利用する場合

Windows端末に「リモートワイプ」を実行するには、端末上で「BitLocker」を設定しておく必要があります。
「BitLocker」を設定した上で「リモートワイプ」を実行すると、復旧手順を踏まなければデータを確認できないようになります。

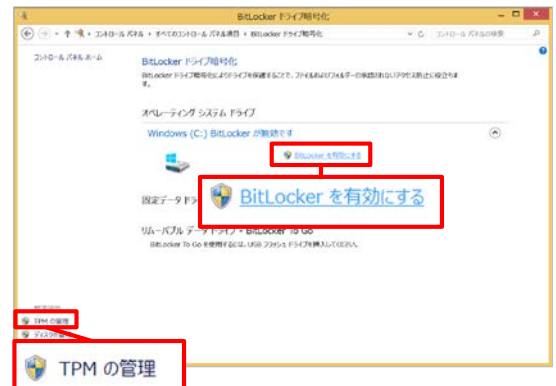
1. [コントロールパネル]-[BitLockerドライブ 暗号化]を開きます。



2. 左下に「TPMの管理」が表示されていることを確認し、BitLockerを有効にします。

※注意事項

「TPMの管理」が表示されていない場合、そのWindows端末はTPM非搭載機種ですので、リモートワイプは実行できません。



3. 端末へのワイプを実行した後、端末を復旧させたい場合に必要になる回復キーのバックアップ方法を設定します。

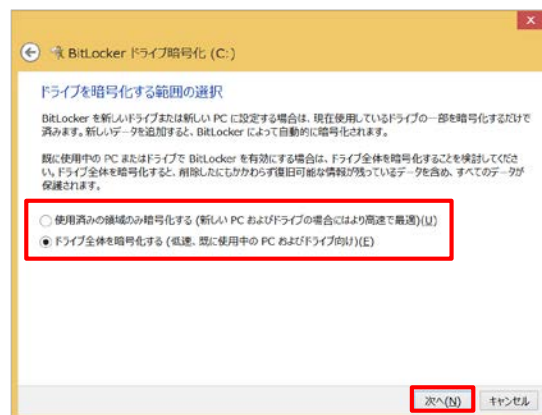
保存形式は特に問いません。

完了すれば「次へ」をタップします。



4. ドライブを暗号化する範囲を設定します。暗号化の範囲は特に問いませんが、「ドライブ全体を暗号化する」を選択することで安全性が高まります。(ただし、暗号化に時間がかかることがあります)

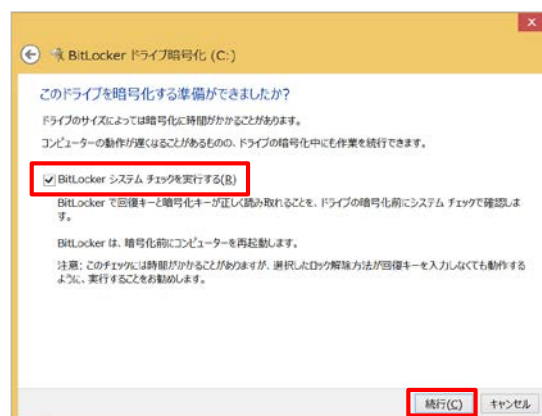
設定できれば「次へ」をタップします。



5. 「使用する暗号化モードを選ぶ」画面が表示された場合は、任意の暗号化モードを選択して「次へ」をタップします。



6. BitLockerのシステムチェックを実行するかどうかを選択して「続行」をタップします。選択の有無は問いませんが、「BitLockerシステムチェックを実行する」にチェックを入れたほうが安全性が高まります。(ただし、端末再起動の実施が必要です)



7. 暗号化が行われます。完了のダイアログが表示されれば「閉じる」をタップします。



8. 選択したドライブに「BitLockerが有効です」と表示されたことを確認します。

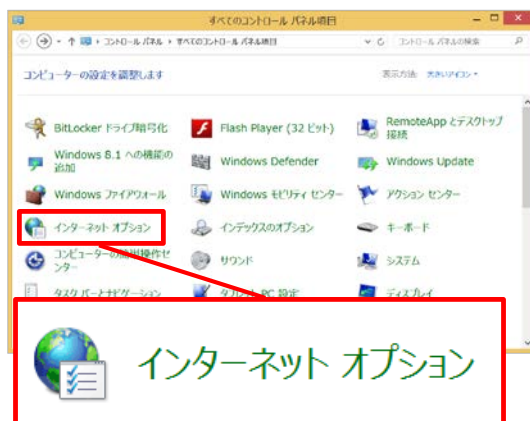


④プロキシサーバーの設定を行います。

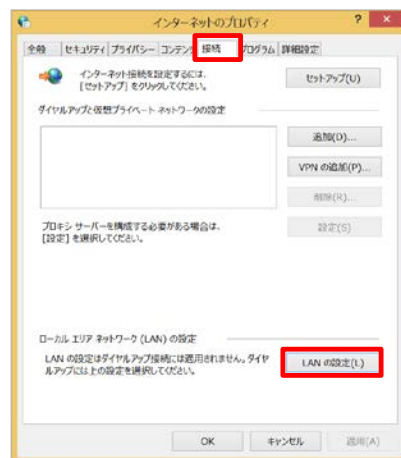
※ネットワーク接続時、プロキシサーバーを経由する場合

管理対象端末側で事前にプロキシサーバーの設定を行います。すでにプロキシサーバーを設定済みの場合も、次に示す箇所がすべて設定されているかを必ず確認します。

1. [コントロールパネル]-[インターネットオプション]をタップします。



2. 「接続」タブの「LANの設定」をタップします。



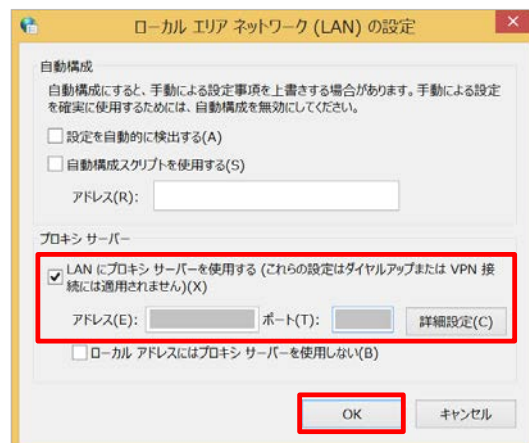
3. 次の箇所を設定します。
 - ・「LANにプロキシサーバーを使用する」にチェックを入れます。
 - ・「アドレス」「ポート」を入力します。

※注意事項

メッセージ・アンケート機能を利用する場合は、「設定を自動的に検出する」「自動構成スクリプトを使用する」のチェックは外してください。

●ポイント

プロトコルごとに設定が必要な場合は「詳細設定」をタップして設定してください。なお、LanScope Anでは「Secure」プロトコルを利用します。



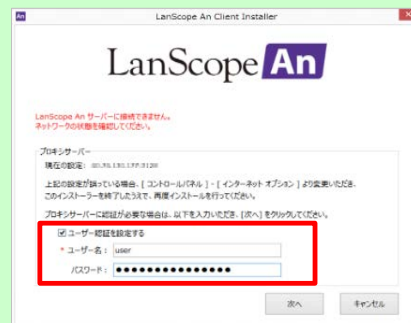
4. 「OK」をタップして各画面を閉じます。
プロキシサーバーを経由してネットワーク接続できることを確認してください。

※プロキシサーバーの設定やユーザの認証設定を変更する場合は「補足：プロキシサーバーの設定を変更する」(p.55)を確認してください。

●ポイント

プロキシサーバーへの接続時にユーザー名とパスワードによる認証が必要な場合、次の操作が必要です。

- ・ p.46で端末にAnクライアントをインストールする手順がありますが、その際、右の画像のようにユーザー名とパスワードの入力を求められます。端末利用者にてインストールを行う場合は、入力情報をあらかじめ連絡してください。
- ・ 管理者から通知されたメッセージ・アンケートを確認する際に、Internet Explorer(IE)経由でインターネット接続する際と同様にユーザー名とパスワードの入力が求められますので、入力してください。



管理コンソールにログインする

管理コンソールへのログイン方法を確認します。

2-1 管理コンソールにログインする

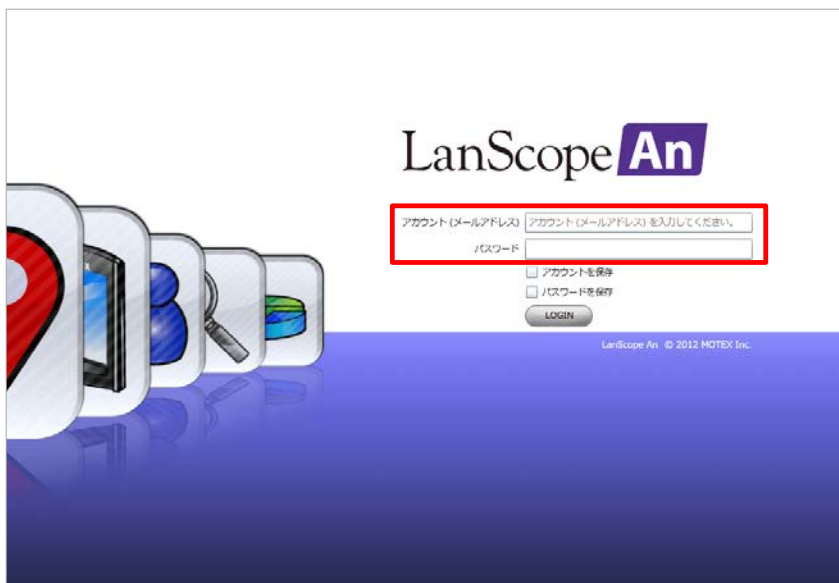
guide

2

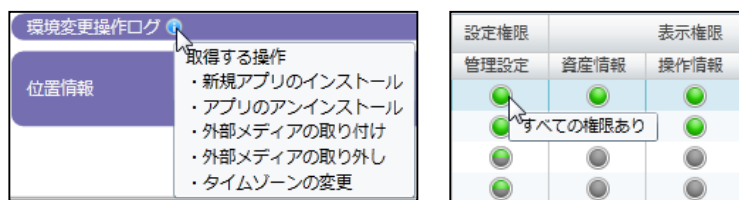
管理コンソールにログインする

- 1.納品メールに記載されているURLにアクセスします。
- 2.納品メールに記載されているアカウントとパスワードを入力してログインします。

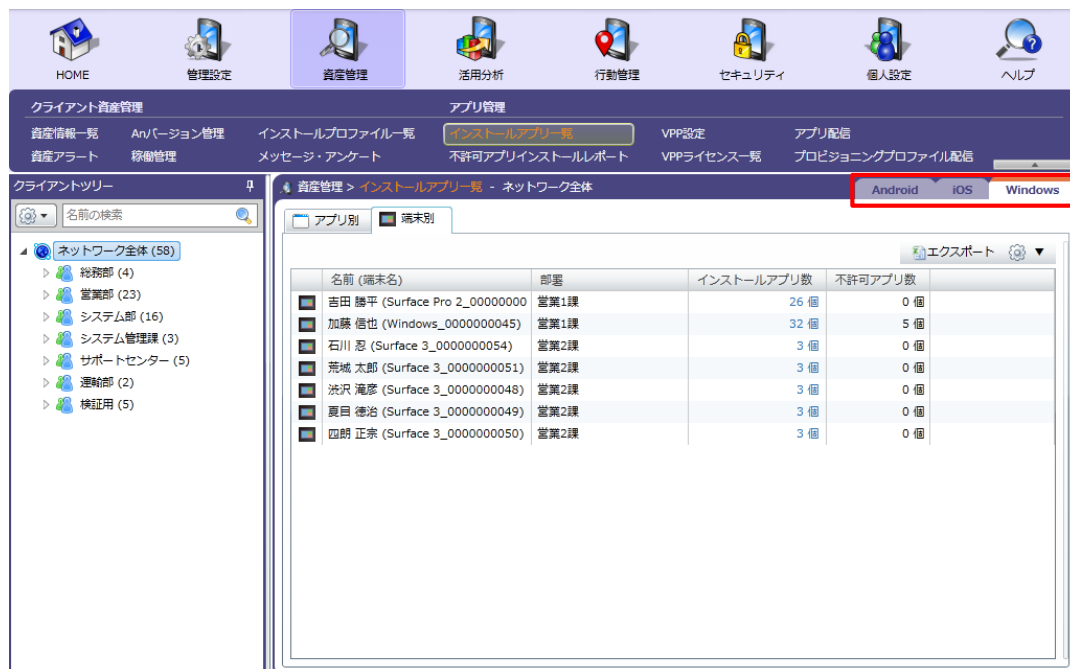
【管理コンソールログイン画面】



■各画面に表示されているアイコンにマウスカーソルをあわせると、詳細情報が表示されます。



■画面上に表示されているOSごとの情報を、タブで切り替えて確認することができます。



タブ	説明
	Android/iOS/Windows を切り替えることができます (該当画面：端末登録設定/インストールアプリ一覧など)
	OSが混在している画面です (該当画面：資産情報一覧/最新位置情報など)
① ②	特定のOSのみ切り替えが可能な画面です (該当画面：①アンインストール防止設定/②パスワードポリシー設定など)
③ ④	特定のOSのみ表示可能な画面です (該当画面：③プロフィール登録/④端末別活用レポートなど)

- 資産情報一覧などの画面は項目ごとにグルーピング(グループ分け)をすることができます。
条件に合致する端末を見つけない時に便利です。

(例)営業2課に割り当てられている各OSの台数を調べる場合

1. 「資産管理」から「資産情報一覧」を開きます。
2. 右上の歯車アイコンから「グルーピング」
「グルーピングを有効にする」を選択します。



3. 上部に「列ごとにグループ分けするとき、ここに列ヘッダーをドラッグします。」という領域が表示されますので、ここにグループ分けをしたい列ヘッダー(項目名)をドラッグします。

ここでは「部署」をドラッグして領域上で離します。



4. 「部署」ごとにグループ分けが行われました。
さらに「営業部2課」を▶で展開し、「OSタイプ」をドラッグして領域上で離します。



5. 「部署」と「OSタイプ」でグループ分けができました。

営業2課にはAndroidが2台、iOSが6台、
Windowsが6台あることを確認することができました。



管理者権限を付与した Anクライアントのインストーラーを作成する

管理者権限を付与したAnクライアントのインストーラーを作成します。
この手順は、管理対象端末に「標準(ユーザー)権限」でサインインしてAnクライアントをインストールする場合に必要です。

3-1 管理者権限を付与したAnクライアントの インストーラーを作成する

guide

3

管理者権限を付与したAnクライアントのインストーラーを作成する

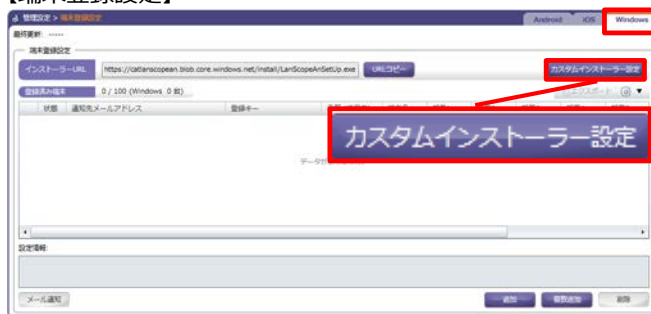


管理対象端末にどのアカウントでサインインしてAnクライアントをインストールするかによって手順が異なります。この手順は、管理対象端末に「標準(ユーザー)権限」でサインインしてAnクライアントをインストールする場合に必要です。

1. 管理対象端末に「**管理者権限アカウント**」でサインインしてAnクライアントをインストールする場合
→この手順を参照する必要はありません。「端末情報を登録する」(p.34)以降の手順を実施してください。
2. 管理対象端末に「**標準(ユーザー)権限アカウント**」でサインインしてAnクライアントをインストールする場合
→この手順を参照して「カスタムインストーラー」を作成します。「カスタムインストーラー」とはインストール時に求められる管理者権限アカウントのパスワード入力を回避できるインストーラーを指します。
※インストール時のパスワード入力を回避しなくてもよい場合は、カスタムインストーラーを作成する必要はありません。

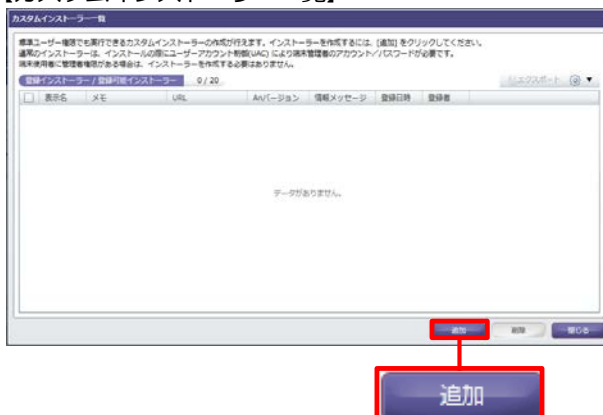
1. 「管理設定」メニューを選択し「端末登録設定」をクリックします。
2. 右上のタブを「Windows」に切り替えます。
3. 「カスタムインストーラー設定」をクリックします。

【端末登録設定】



4. 「追加」をクリックします。

【カスタムインストーラー一覧】



5. 次の情報をそれぞれ入力して「OK」をクリックします。

- ・表示名(必須)/メモ：
作成したインストーラーを管理コンソール上で識別するための名称・説明を入力します。
- ・アカウント名(必須)/パスワード/ドメイン名：
インストール対象のWindows端末の管理者権限アカウントの情報を入力します。

【インストーラーの追加】

インストーラーの追加

標準ユーザー権限アカウントでAnクライアントをインストールするためのインストーラーを作成します。

基本情報

・表示名: その他部門用
メモ: 管理以外の部門展開用

Windows端末の管理者アカウント情報

インストール対象のWindows端末の管理者権限アカウント情報を入力してください。

・アカウント名: Administrator
パスワード: ●●●●●●●●●●
☒ ドメインを指定する
・ドメイン名: motex0123

OK キャンセル

6. カスタムインストーラーが追加されたことを確認して「閉じる」をクリックします。

【カスタムインストーラー一覧】

カスタムインストーラー一覧

標準ユーザー権限でも実行できるカスタムインストーラーの作成が可能です。インストーラーを作成するには、(追加)をクリックしてください。
追加のインストーラーは、インストールの際にユーザーアカウント制御(UAC)により標準管理者のアカウント/パスワードが必要です。
端末使用者に管理者権限がある場合は、インストーラーを作成する必要はありません。

表示名	メモ	URL	Anバージョン	説明メッセージ	登録日時	登録者
<input type="checkbox"/>	その他部門用	管理以外の部門展開用	https://catenscope	2.5.1.0	2016/08/15 14:39	ITS (マニュアル編纂) (ts@test.co.jp)

追加 削除 閉じる

※注意事項

インストール対象のWindows端末で、「Windows SmartScreen」を有効にしている場合、カスタムインストーラーの場合でも管理者権限アカウントのパスワード入力を求められます。

●ポイント

- ・カスタムインストーラーは最大20件まで作成できます。
不要になったカスタムインストーラーは「カスタムインストーラー一覧」でチェックを入れて「削除」をクリックすることで削除できます。
- ・カスタムインストーラーは、作成時に最新であるバージョンで作成されます。
新しいバージョンのWindows用Anクライアントがリリースされた場合は、カスタムインストーラーを作成しなおしてください。各カスタムインストーラーのバージョンは「カスタムインストーラー一覧」の「Anバージョン」欄で確認できます。

端末情報を登録する

端末にAnクライアントをインストールする前に、管理端末の情報を管理コンソールに登録して登録キーを発行します。登録キーはAnクライアントをインストールする際に必要な情報です。端末登録方法には、「1台ずつ登録する方法」と「一括で登録する方法」があります。

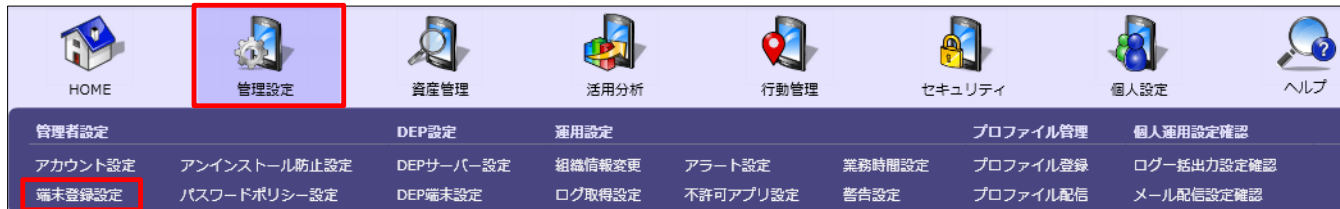
- 4-1 1台ずつ登録する
- 4-2 一括で登録する

guide

4

1台ずつ登録する

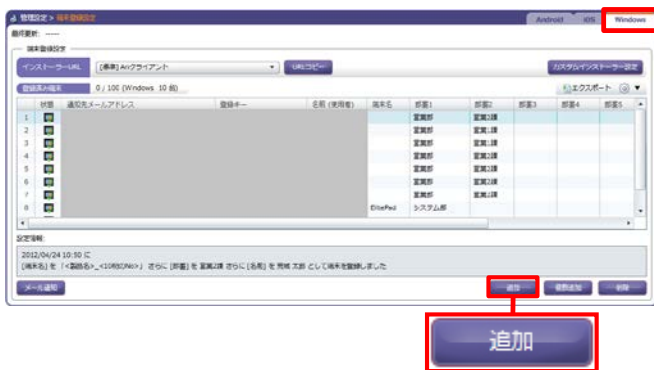
4-1



端末を1台ずつ登録します。

1. 「管理設定」メニューを選択し「端末登録設定」をクリックします。
2. 右上のタブを「Windows」に切り替えます。
3. 画面下部にある「追加」をクリックし、管理端末の追加を表示します。

【端末登録設定】



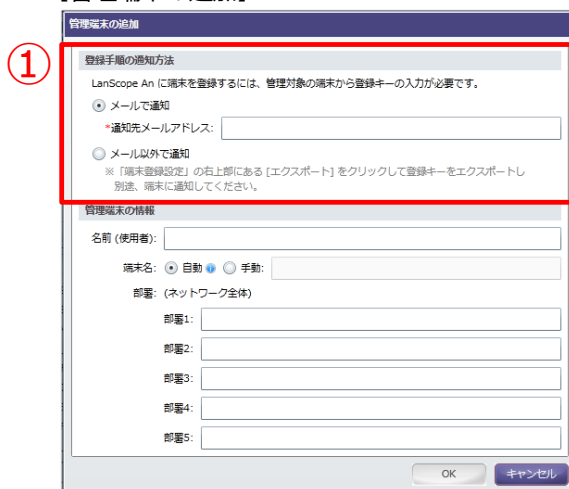
◆入力項目について

- ①登録手順の通知方法は以下のいずれかを選択します。

- ・メールで通知
「登録キー」と「インストーラーURL」をメールで通知します。端末で受信できるメールアドレスを設定してください。
- ・メール以外で通知
「登録キー」をエクスポートして「インストーラーURL」とあわせて別途端末に通知します。

※「登録キー」は端末ごとに個別に発行されます。

【管理端末の追加】



- ②「管理端末の情報」を入力します。
項目：名前(使用者)・端末名・部署1～5

端末名は「自動」「手動」のいずれかを選択します。

- ・自動を選択した場合：
端末名が「<製品名>_<10桁のNo>」で設定されます。
- ・手動を選択した場合：
手動で入力した内容が設定されます。

入力しなかった場合、名前(使用者)/端末名は[資産管理]-[資産情報一覧]-[資産情報の編集]から、部署1～5は[管理設定]-[組織情報変更]-[変更]から編集できます。

※「組織情報変更」設定手順については、別紙「LanScope Anユーザズガイド for Windows」を確認してください。

4. 端末情報の入力完了すれば「OK」をクリックします。

【管理端末の追加】

②

登録手順の通知方法

LanScope An に端末を登録するには、管理対象の端末から登録キーの入力が必要です。

☒ メールで通知

通知先メールアドレス:

☐ メール以外で通知

※「端末登録設定」の右上部にある [エクスポート] をクリックして登録キーをエクスポートし別送、端末に通知してください。

管理端末の情報

名前 (使用者):

端末名: ☒ 自動 ☐ 手動:

部署: (ネットワーク全体)

部署1:

部署2:

部署3:

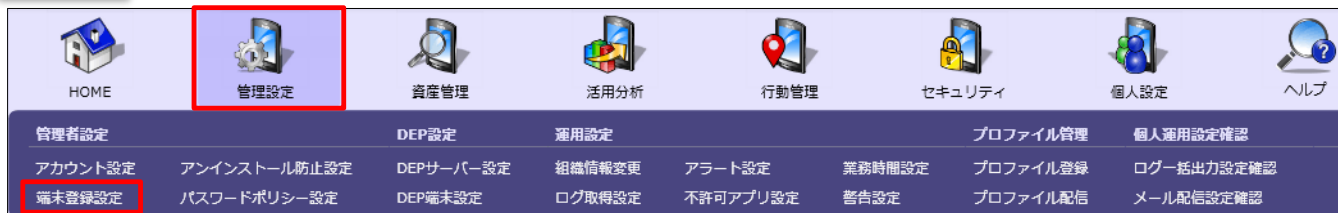
部署4:

部署5:

OK キャンセル

一括で登録する

4-2

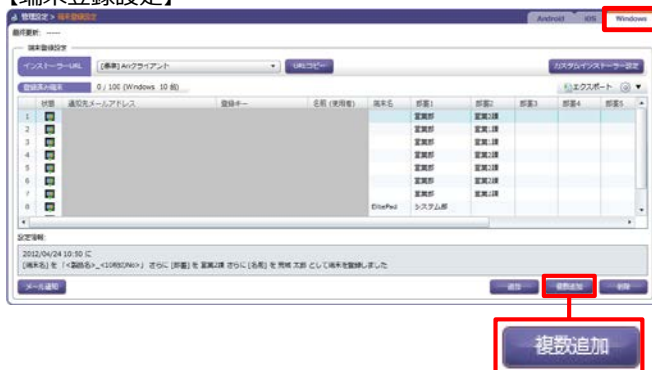


複数の端末を一括で登録します。登録方法は2種類あります。

【インポートで追加する場合】

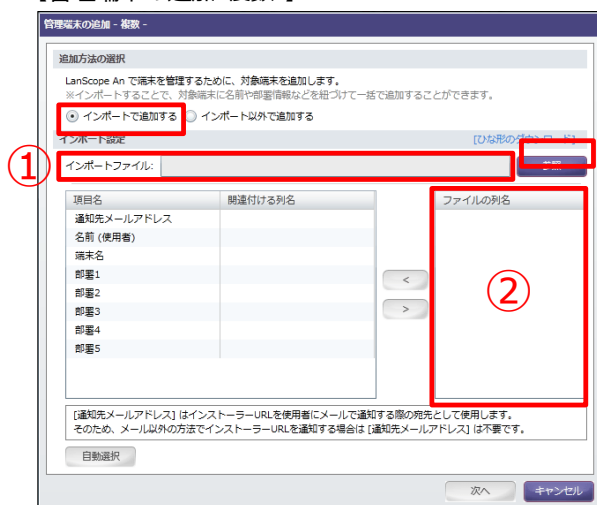
1. 「管理設定」メニューを選択し「端末登録設定」をクリックします。
2. 右上のタブを「Windows」に切り替えます。
3. 画面下部にある「複数追加」をクリックすると、「管理端末の追加-複数-」が開きます。

【端末登録設定】



4. 「インポートで追加する」を選択します。
5. 「参照」をクリックしてインポートしたいExcelファイルを選択すると、インポートするファイル名が①に表示されます。読み込んだファイルの1行目の項目が、②の「ファイルの列名」に表示されます。
※インポート可能なファイル形式:.xls/.xlsx
※1度につき1万台まで、合計3万台まで追加できます。

【管理端末の追加-複数-】



◆インポートするファイルを作成する

1. 端末登録設定画面右上の「エクスポート」をクリックしてデータを出力します。なお、端末登録が0件の場合は画面右上「ひな形のダウンロード」からひな形となるファイルをダウンロードし、登録内容を入力してください。
2. ファイルに該当する情報を入力します。
※メール以外の方法で登録キーとインストーラーURLを通知する場合、通知先メールアドレスの入力は不要です。
3. 入力完了後ファイルを保存し、手順に従ってインポートします。

6. 「<」「>」ボタンで②のそれぞれの項目を③の関連付ける列名に移動させます。「自動選択」を選択した場合、自動で③の項目名と同じ名前の行が②から選ばれ、③の「関連付ける列名」に追加されます。管理コンソールからエクスポートしたデータを使用する際に選択すると便利です。

インポートできる項目は以下の通りです。

- ・通知先メールアドレス
- ・名前（使用者）
- ・端末名
- ・部署名1～5

②と③の関連付けが完了したら「次へ」をクリックします。

7. 「登録設定の選択」画面からインポートするアカウントを選択し、④のチェックボックスにチェックを入れます。「インポート」をクリックするとインポートが開始されます。

8. インポート完了後、情報ダイアログが表示されますので「OK」をクリックします。

【管理端末の追加-複数-】

【登録設定の選択】

通知先メールアドレス	名前 (使用者)	端末名	部署1	部署2
1111111@motex.co.jp	吉田 勝平	Surface Pro 2_00000000044	全社	営業1課
1111112@motex.co.jp	加藤 信也	Windows_00000000045	全社	営業1課
1111113@motex.co.jp	石川 忍	Surface 3_00000000054	全社	営業2課
1111114@motex.co.jp	荒城 太郎	Surface 3_00000000051	全社	営業2課
1111115@motex.co.jp	麻生 幸助	Surface 3_00000000047	全社	営業2課
1111116@motex.co.jp	浅沢 満彦	Surface 3_00000000048	全社	営業2課
1111117@motex.co.jp	夏目 徳治	Surface 3_00000000049	全社	営業2課
1111118@motex.co.jp	四郎 正幸	Surface 3_00000000050	全社	営業2課
1111119@motex.co.jp	共有タブレット	ElitePad_00000000052	全社	システム部
1111120@motex.co.jp	検証用A	Surface Pro 3_00000000053	全社	検証用

9. インポートに成功したアカウントの一覧が表示されます。画面右端に表示される「情報メッセージ」列でインポートが完了していることを確認して、「閉じる」をクリックします。

【インポート結果の詳細】

インポート結果の詳細

登録済み 48 / 30000 追加 10 件 [エクスポート](#)

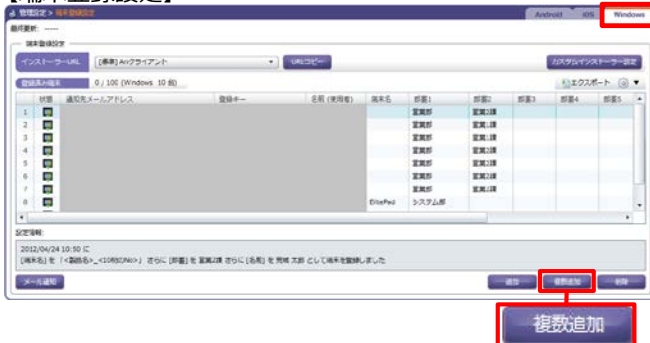
通知先メールアドレス	名前 (使用数)	端末名	部署1	部署2
11111111@motex.co.jp	吉田 勝平	Surface Pro 2_0000000044	全社	営業1課
11111112@motex.co.jp	加藤 信也	Windows_0000000045	全社	営業1課
11111113@motex.co.jp	石川 忍	Surface 3_0000000054	全社	営業2課
11111114@motex.co.jp	荒城 太郎	Surface 3_0000000051	全社	営業2課
11111115@motex.co.jp	麻生 幸助	Surface 3_0000000047	全社	営業2課
11111116@motex.co.jp	浅沢 蓮彦	Surface 3_0000000048	全社	営業2課
11111117@motex.co.jp	渡辺 徳治	Surface 3_0000000049	全社	営業2課
11111118@motex.co.jp	西前 正幸	Surface 3_0000000050	全社	営業2課
11111119@motex.co.jp	共有タブレット	ElitePad_0000000052	全社	システム部
11111120@motex.co.jp	検証用A	Surface Pro 3_0000000053	全社	検証用

[閉じる](#)

【インポート以外で追加する場合】

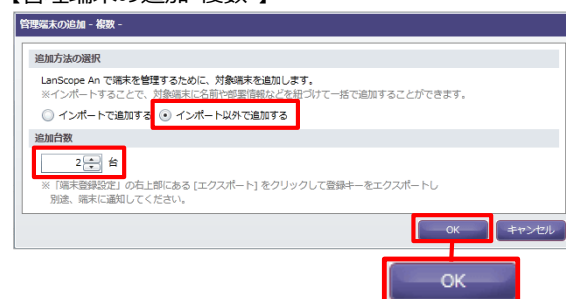
1. 「管理設定」メニューを選択し「端末登録設定」をクリックします。
2. 右上のタブを「Windows」に切り替えます。
3. 画面下部にある「複数追加」をクリックすると、「管理端末の追加-複数-」が開きます。

【端末登録設定】

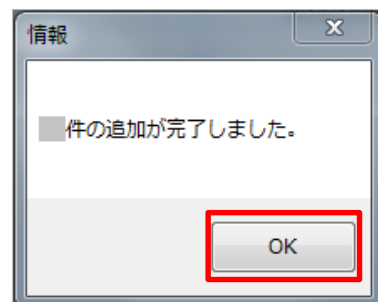


4. 「インポート以外で追加する」を選択します。
5. 登録したい端末の台数を入力して「OK」をクリックします。
※1度につき1万台まで、合計3万台まで追加できます。

【管理端末の追加-複数-】



6. 完了後、情報ダイアログが表示されますので「OK」をクリックします。



7. 設定した台数分の登録キーが発行されますので、「端末登録設定」の「エクスポート」から登録キーをエクスポートして、インストーラーURLとあわせてユーザーに通知します。

※通知方法は「インストーラーURLと登録キーをその他の方法で通知する」(p.44)を参照してください。

【端末登録設定】



ユーザーにインストーラーURLと登録キーを通知する

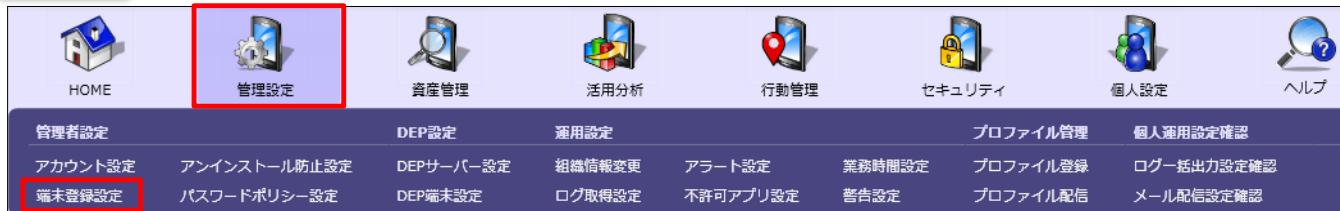
Anクライアントの「インストーラーURL」と、インストールに必要な「登録キー」を各ユーザーに通知します。

- 5-1 インストーラーURLと登録キーをメールで通知する
- 5-2 インストーラーURLと登録キーをその他の方法で通知する

guide

5

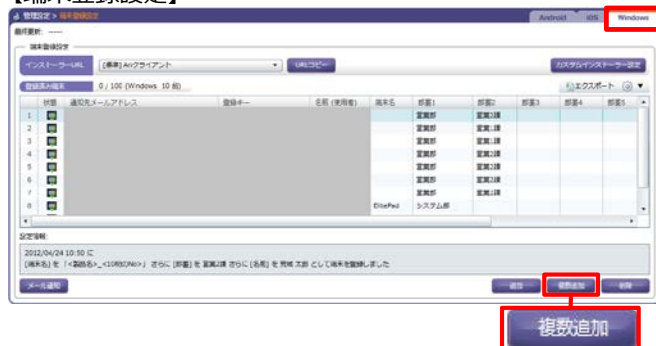
インストーラーURLと登録キーをメールで通知する



Anクライアントの「インストーラーURL」と、インストールに必要な「登録キー」をメールで通知する場合の手順です。メールで通知するには、あらかじめ「端末情報を登録する」(p.34)の段階で通知先メールアドレスを設定しておく必要があります。

1. 「管理設定」メニューを選択し「端末登録設定」をクリックします。
2. 右上のタブを「Windows」に切り替えます。
3. 端末登録が完了すれば、画面左下にある「メール通知」をクリックします。

【端末登録設定】



4. 「通知先の選択」が開きます。

①ダウンロードURLを通知したいインストーラーをプルダウンから選択します。

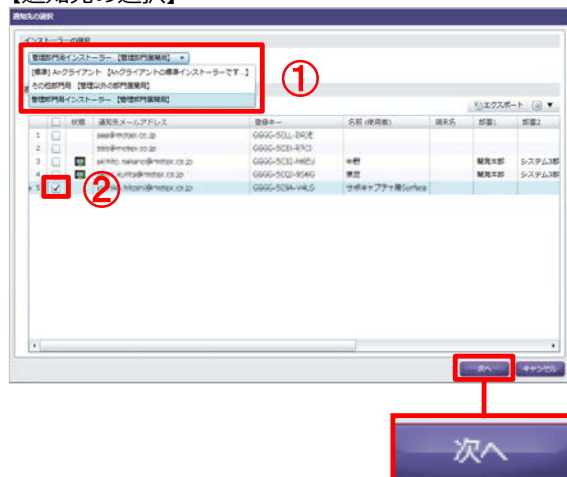
- ・管理者権限でサインインしてAnクライアントをインストールする場合：
「[標準]Anクライアント」を選択します。

- ・標準(ユーザー)権限でサインインしてAnクライアントをインストールする場合：
あらかじめ作成したカスタムインストーラー (p.31)を選択します。

- ②通知する端末にチェックを入れます。

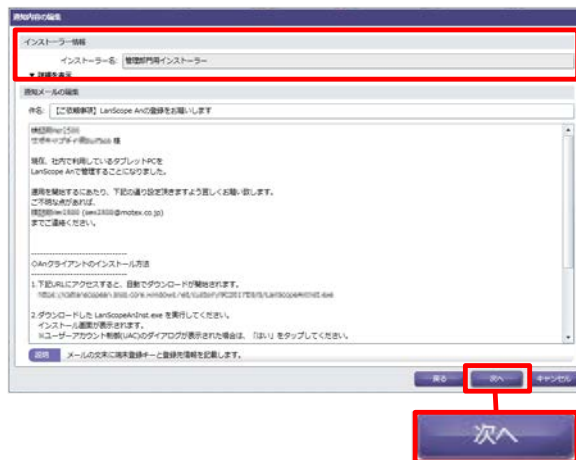
「次へ」をクリックします。

【通知先の選択】



5. 「通知内容の編集」が開きます。選択したインストーラーの種類が正しいかを確認し、「件名」と「本文」を必要に応じて編集して「次へ」をクリックします。

【通知内容の編集】

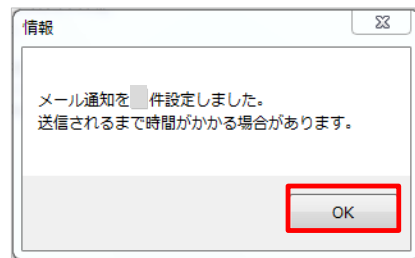


6. 「通知内容のプレビュー」が表示されるので、間違いがなければ「送信」をクリックします。

【通知内容のプレビュー】



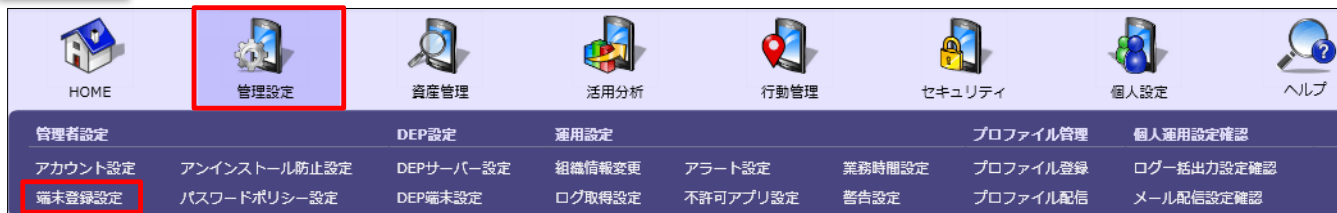
7. 送信設定完了後「メール通知を○件設定しました。送信されるまで時間がかかる場合があります。」という確認画面が表示されます。「OK」をクリックして画面を閉じます。



※注意事項

メール送信状態アイコンが「メール通知済みです」になっているにも関わらずメールが届かない場合は、迷惑メールフォルダーにメールが振り分けられていないか、お客様環境側でスパムメールとして検知して受信を拒否する状態になっていないかをご確認ください。

インストーラーURLと登録キーを その他の方法で通知する



AnクライアントのインストーラーURLと、インストールに必要な登録キーを、LanScope Anからのメール通知以外の方法で通知したい場合に確認します。

Anクライアントのインストールにあたり、ユーザーに通知する必要がある情報は次の3点です。それぞれ次の方法で入手して「社内グループウェア」「社内メール」などの方法でユーザーに通知します。

A. インストーラーのダウンロードURL

B. インストール用の登録キー

C. インストール手順

A. インストーラーのダウンロードURL

1. 「管理設定」メニューを選択し「端末登録設定」をクリックします。
2. 右上のタブを「Windows」に切り替えます。
3. 「インストーラーURL」のプルダウンから、インストーラーを選択します。

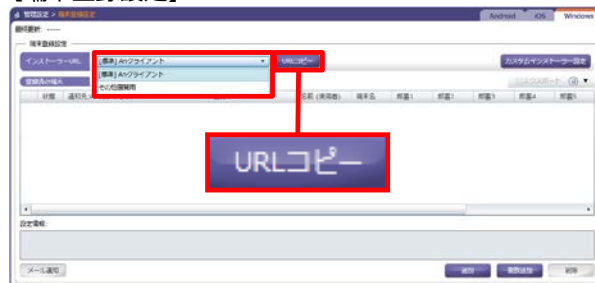
- ・管理者権限でサインインしてAnクライアントをインストールする場合：
「[標準]Anクライアント」を選択します。

- ・標準(ユーザー)権限でサインインしてAnクライアントをインストールする場合：
あらかじめ作成したカスタムインストーラー(p.31)を選択します。

4. 「URLコピー」をクリックしてURLを取得します。

※URLをコピーする際に右の画面が表示された場合は「はい」をクリックします。

【端末登録設定】

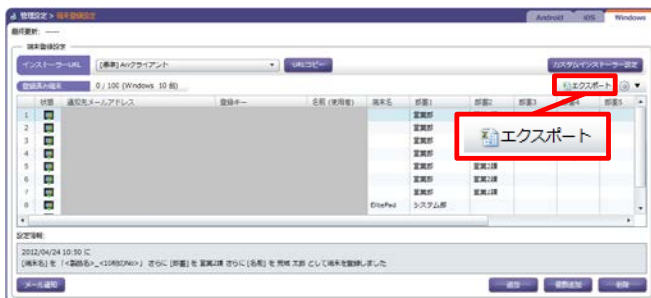


はい(Y)

B.インストール用の登録キー

1. 「管理設定」メニューを選択し「端末登録設定」をクリックします。
2. 右上のタブを「Windows」に切り替えます。
3. 「エクスポート」をクリックして、任意の名前を付けてファイルを保存します。

【端末登録設定】



4. エクスポートしたファイルに、Anクライアントのインストールに必要な「登録キー」が記載されていることを確認します。
なお、Windows端末 1 台につき1つの「登録キー」が必要です。使い回すことはできませんので、通知の際はだれがどの「登録キー」を使えばよいのかを明記しておくことをおすすめします。

【エクスポートしたファイル】

	A	B	C	D	E	F
1	状態	通知先メールアドレス	登録キー	名前(使用者)	端末名	部署1
2		info@motex.co.jp	00000-0000-0000			
3		info@motex.co.jp	00000-0000-0000			
4	登録済み	info@motex.co.jp	00000-0000-0000	中野		開発本部
5	登録済み	info@motex.co.jp	00000-0000-0000	中野		開発本部
6	登録済み	info@motex.co.jp	00000-0000-0000	中野		
7	登録済み	info@motex.co.jp	00000-0000-0000	中野		
8	登録済み	info@motex.co.jp	00000-0000-0000	中野		
9	登録済み	info@motex.co.jp	00000-0000-0000	中野		
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						

C.インストール手順

通知用の簡易手順は次の通りです。

※画像付きの詳細な手順は、次ページ以降を参照してください。

◇Anクライアントのインストール方法

1. 下記URLにアクセスすると、自動でダウンロードが開始されます。
★★AでコピーしたURLを貼付けてください★★
2. ダウンロードした LanScopeAnSetUp.exe(LanScopeAnInst.exe) を実行してください。
インストール画面が表示されます。
※ユーザーアカウント制御(UAC)のダイアログが表示された場合は、「はい」をタップしてください。
3. [端末登録キー] に下記IDを入力し、「インストール」をタップしてください。
★★Bで入手した登録キーを貼付けてください★★
4. インストールが完了しますと、完了メッセージが表示されますので、「OK」をタップしてください。
5. インストールの完了です。

端末にインストールする

端末にAnクライアントをインストールします。

- 6-1 端末にインストールする
- 6-2 インストールに失敗した時の対処方法

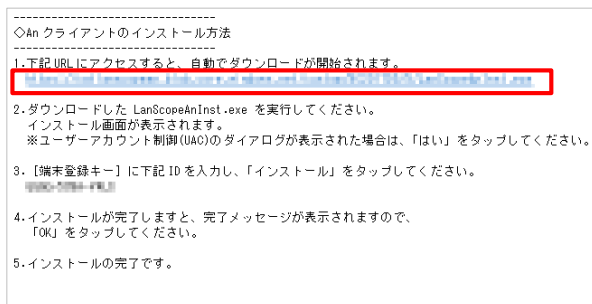
guide

6

端末にインストールする

Anクライアントを管理対象の端末にインストールします。

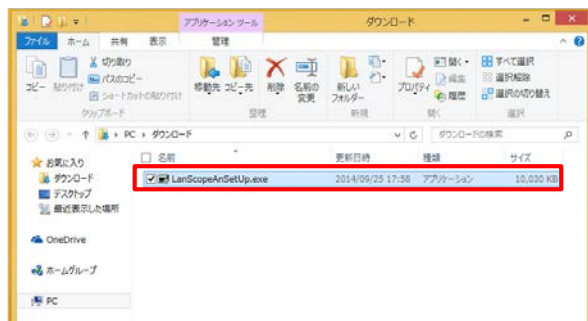
1. 管理者からメールなどで通知された、AnクライアントのダウンロードURLにアクセスします。



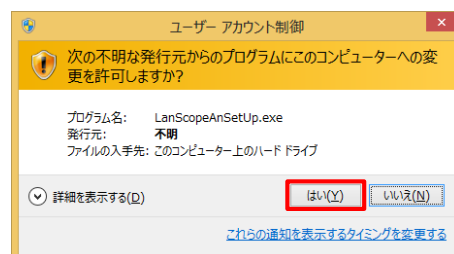
2. インストーラーを保存して実行します。

※標準(ユーザー)権限で実行した場合は管理者権限アカウントのパスワードを求められますので、管理者権限アカウントの情報を入力してください。

なお、「管理者権限を付与したAnクライアントのインストーラーを作成する」(p.31)で作成したカスタムインストーラーを実行した場合は、パスワード入力を回避できます。



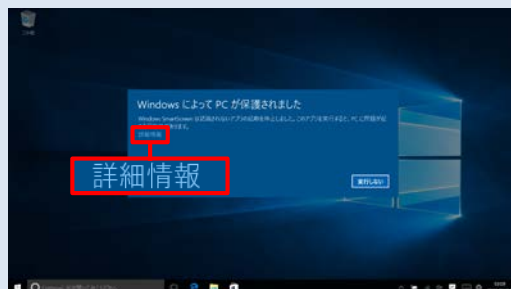
※ユーザーアカウント制御(UAC)のダイアログが表示された場合は、「はい」をタップしてください。



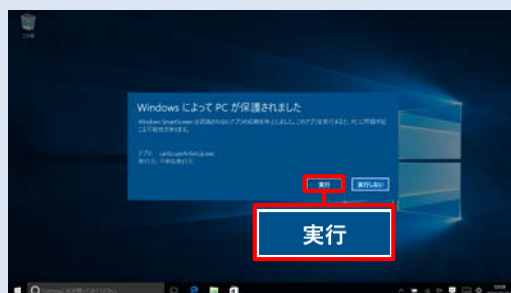
実行時にWindows SmartScreenの画面が表示された場合は、端末にサインインしているアカウントの権限に応じて、次の手順を実施します。

■管理者権限アカウントでサインインしている場合

①「詳細情報」をタップします。

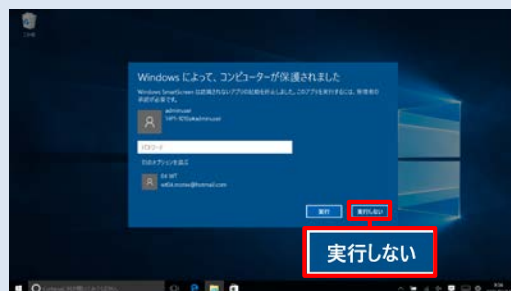


②「実行」をタップします。

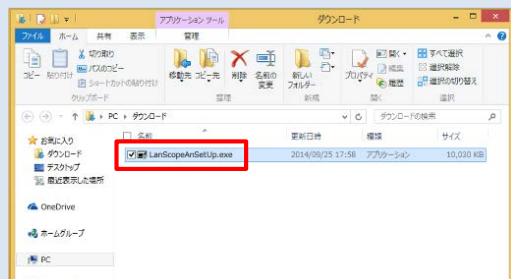


■標準(ユーザー)権限アカウントでサインインしている場合

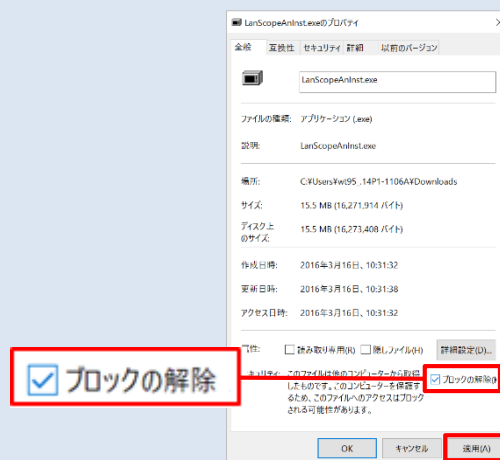
①「実行しない」をタップします。



② 項番2.で保存したインストーラーをロングタップ(右クリック)して「プロパティ」をタップします。



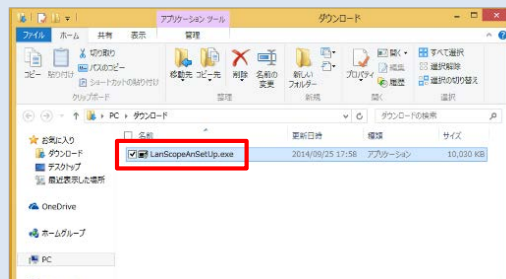
- ③ 「ブロックの解除」にチェックを入れて「適用」をタップします。



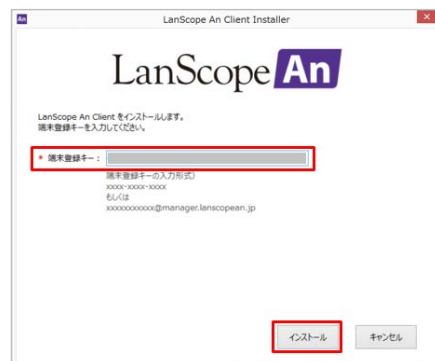
- ④ 「OK」をタップします。



- ⑤ 項番2.で保存したインストーラーを実行します。



- 登録キーの入力を求められますので、管理者から通知された登録キーを入力し、「インストール」をタップします。



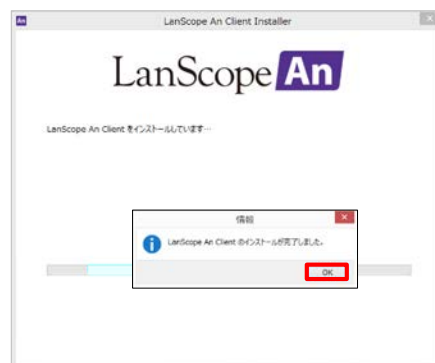
プロキシサーバーを経由してネットワーク接続する環境の場合、次のどちらかに合致すると右の画面が表示されます。

- プロキシサーバーへの接続時に認証が必要な場合
⇒「現在の設定」に設定されているプロキシサーバーのアドレス・ポートが正しいことを確認して「ユーザー認証を設定する」にチェックを入れ、「ユーザー名」「パスワード」を入力します。「次へ」をタップすればインストールを続行できます。
- 認証は不要だが、プロキシサーバーの設定に誤りがある場合
⇒「プロキシサーバーの設定を変更する」(p.55)を参照してプロキシサーバーを再設定してください。

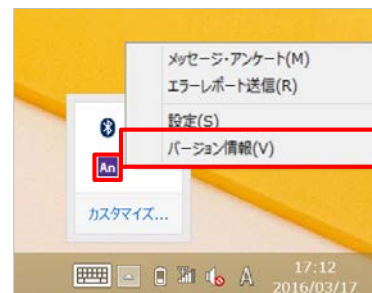
※プロキシサーバーを経由しないにも関わらずこの画面が表示される場合は、端末のネットワークの状態などを確認してください。



- インストールが完了すればメッセージが表示されますので「OK」をタップします。



5. タスクトレイのAnクライアントアイコンをロングタップ(右クリック)して「バージョン情報」をタップします。



6. 正しく会社名が表示されていれば、登録に成功しています。「閉じる」をタップして画面を閉じます。

※画像のバージョンは一例です。インストール時点のバージョンが表示されます。



インストールに失敗した時の対処方法

▼Anクライアントのインストールに失敗した場合の対処方法



以下の方法で対処してください。

エラーメッセージ	対処方法
LanScope An Client のインストールに失敗しました。 LanScope An Client のアンインストール後に Windows の再起動が行われていない可能性があります。Windows の再起動後にインストールを再度実行してください。	Anクライアント(デスクトップ) をアンインストールされてから、再起動されていません。Windows の再起動後に再度インストールを行ってください。
LanScope An Client のインストールに失敗しました。 Windows 8.1未満のOSには対応しておりません。OSのバージョンをご確認ください。	端末のOSがLanScope Anに対応していません。 恐れ入りますが対応OSでご利用ください。
LanScope An Client のアップデートに失敗しました。 最新バージョンがリリースされています。最新バージョンを使用して、アップデートを実行してください。	旧バージョンのAnクライアント(デスクトップ) でのアップデートには対応していません。 最新のAnクライアント(デスクトップ) で再度アップデートを行ってください。 ※上書きインストール(アップデート)に失敗した際に表示されます。

インストール後に確認する

メール通知およびAnクライアントのインストール結果を確認します。

7-1 インストール後に確認する

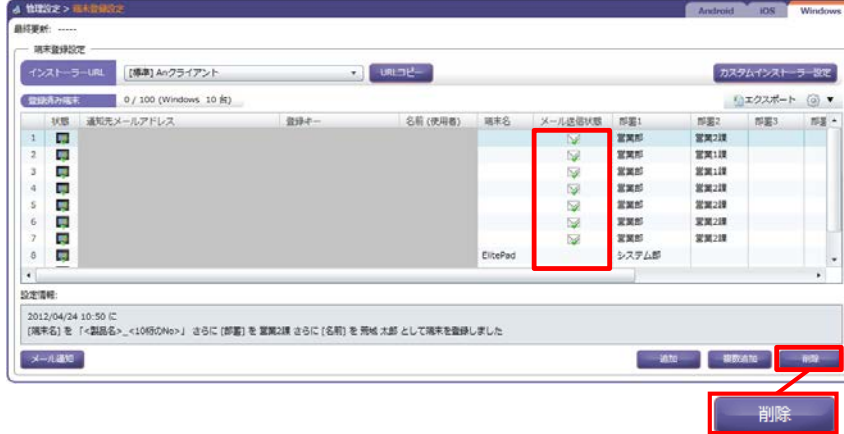
guide



インストール後に確認する

7-1

【端末登録設定】



【状態・メール送信状態アイコン】

アイコン	ステータス
	Anクライアントインストール済みです。
(なし)	メール通知も登録もされていません。
	メール送信待機中です。
	メール送信済みです。
	メール送信に失敗しています。サポートセンターまでお問い合わせください。(p.59)

1. 「管理設定」メニューを選択し「端末登録設定」をクリックします。
タブを「Windows」に切り替えます。
2. 「端末登録日時」列に日時が表示されていれば、Anクライアントのインストールに成功しています。
3. 「端末登録日時」が表示されていない場合は、端末所有者に登録を行ったかを確認し、事象に応じて次のとおり対処してください。
 - ◆メールが届いていない場合
 - ・「登録キー」「AnクライアントのインストーラーURL」をメールで通知した場合で、メールが届かない場合は、メールアドレスが正しいかを確認して再度「メール通知」を行ってください。(p.42)
 - ・通知先メールアドレスが間違っていた場合は、「端末登録設定」で「削除」をクリックし、該当するメールアドレスにチェックを入れて「削除」をクリックしてください。その後、再度端末登録設定(p.34)を行ってください。
 - ・「メール送信状態」列のアイコンが「メール送信済みです」になっているにもかかわらずメールが届かない場合は、迷惑メールフォルダーにメールが振り分けられていないか、お客様環境側でスパムメールとして検知して受信を拒否する状態になっていないかをご確認ください。
 - ◆Anクライアントのインストールに失敗した場合
「Anクライアントのインストールに失敗した場合」(p.52)に従って対処してください。

◆補足資料

プロキシサーバーの設定を変更する

経由するプロキシサーバーの設定を変更したい場合に必要な設定を確認します。

パターン1 : プロキシサーバーを経由する環境→経由しない環境に切り替えたい場合

パターン2 : プロキシサーバーを経由しない環境→経由する環境に切り替えたい場合

パターン3 : 経由するプロキシサーバーの設定を変更したい場合

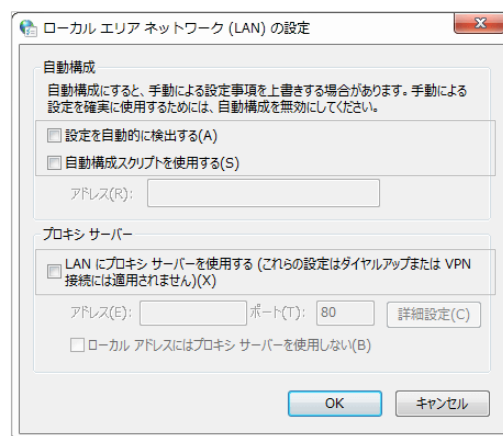
プロキシサーバーの設定を変更する

プロキシサーバーの設定を変更したい場合に必要な設定を確認します。
パターンごとに手順が異なりますので、変更する内容に対応した手順を確認します。

■パターン1：プロキシサーバーを経由する環境→経由しない環境に切り替えたい場合

LanScope An側では、特に設定を変更したり、Anクライアントを再インストールしたりする必要はありません。ご利用のネットワーク環境にあわせて、プロキシサーバーの経由設定を解除(※)してください。

※例：[コントロールパネル]-[インターネットオプション]-[接続タブ]-[LANの設定]のチェックボックスを外す、など。
環境により設定が異なるため、詳細はネットワーク構築ベンダー等にお問い合わせください。



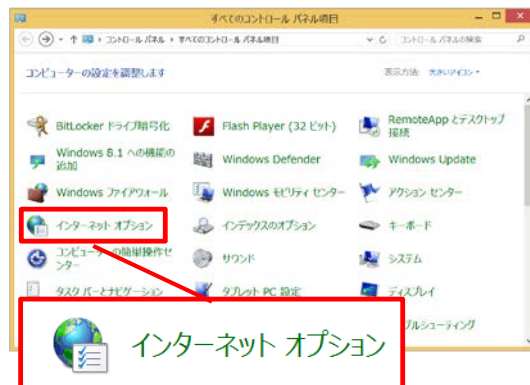
■パターン2：プロキシサーバーを経由しない環境→経由する環境に切り替えたい場合

■パターン3：経由するプロキシサーバーの設定を変更したい場合

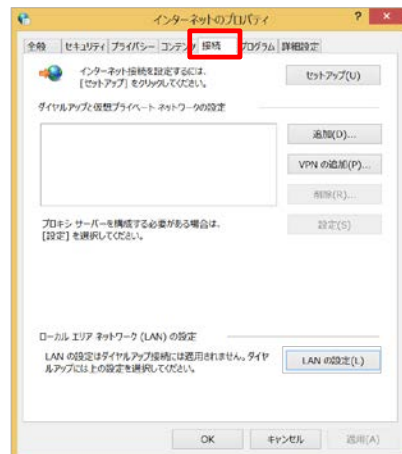
Anクライアントがインストールされている状態で、次の2点を設定(変更)します。

A. 「LANの設定」を設定(変更)する

1. [コントロールパネル]-[インターネットオプション]をタップします。



2. 「接続」タブの「LANの設定」をタップします。



3. 次の箇所を設定(変更)します。

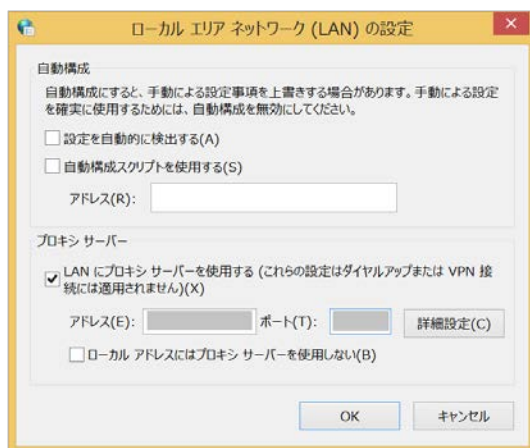
- ・「LANにプロキシサーバーを使用する」にチェックを入れます。
- ・「アドレス」「ポート」を入力します。

※注意事項

メッセージ・アンケート機能を利用する場合は、「設定を自動的に検出する」「自動構成スクリプトを使用する」のチェックは外してください。

●ポイント

プロトコルごとに設定が必要な場合は「詳細設定」をタップして設定してください。なお、LanScope Anでは「Secure」プロトコルを利用します。

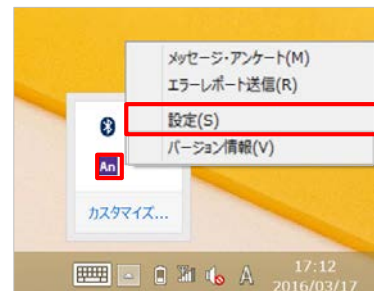


4. 「OK」をタップして各画面を閉じます。
プロキシサーバーを経由してネットワーク接続ができることを確認してください。

B. ユーザー認証を設定(変更)する

プロキシサーバーへの接続の際にユーザ認証が必要な場合のみ必要です。

1. タスクトレイのAnクライアントアイコンをロングタップ(右クリック)して「設定」をタップします。



※もしくは、Anクライアントが通信しようとしたタイミングでユーザ認証に失敗した場合も、次の画面が自動的に起動します。

2. 「ユーザー認証を設定する」にチェックを入れて「ユーザー名」「パスワード」を入力(変更)します。
3. 「OK」をタップします。



お問い合わせ先

お問い合わせ先

- 操作方法、トラブル、販売、お取扱いなどのお問い合わせについては、下記のURLをご参照ください。

<http://www.lanscope.jp/an/inquiry/>

- よくあるご質問(FAQ)については下記のURLをご参照ください。

https://faq.motex.co.jp/?site_domain=an

MOTEX

www.motex.co.jp